

官民協働で若者の留学を支援する 「トビタテ！留学JAPAN」

きみが留学する、
という国家プロジェクト。



文部科学省



JASSO



1. **社会を取り巻く環境**
2. **トビタテ！留学JAPAN**
高校生コースの紹介
3. **留学を通じて得られること**



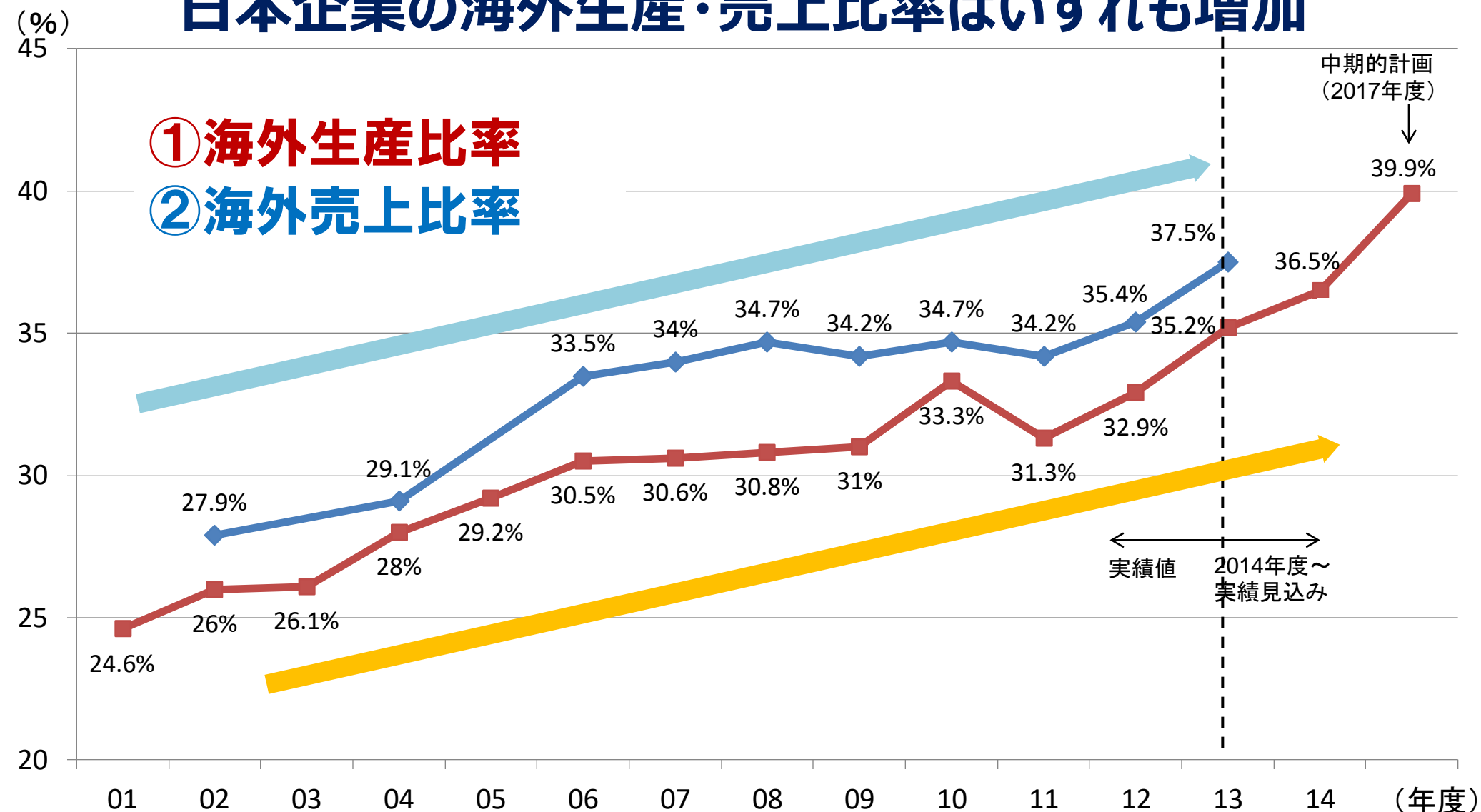
1. 社会を取り巻く環境



グローバル人材ニーズの増加



日本企業の海外生産・売上比率はいずれも増加



出典：(株)国際協力銀行「我が国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」



グローバル人材ニーズの増加



- 2020年東京オリンピック
- 政府による2020年の
訪日外国人観光客数目標：3,000万人

日本国内においても国際化が加速



**“グローバル人材”は
ほとんどの高校生にとって、他人事ではない**



1. つながる

I T革新・ソーシャルメディアの台頭で、誰とでもつながる。インターネット、SNS、IoT・・・

2. 近くなる

世界中どこにでも、すぐ行ける。
リニア、飛行機・・・ LCCで、飛行機代も安く！

3. 国ごとの“差”がなくなる

“先進国”と“新興国”の差が逆転していく。

BRICs , **NEXT 11** , **TACTICS**・・・

一方で、国の中での格差は拡大



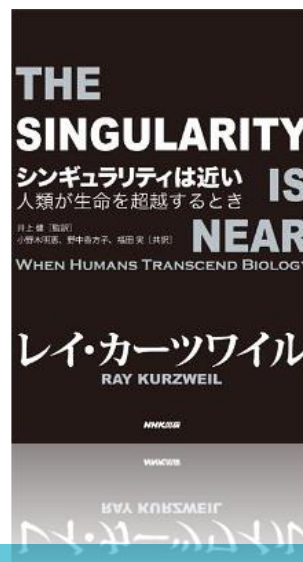
4. 変化のスピードがUP

技術の進歩

- Dog Year (7年→1年) から
- Mouse Year (18年→1年) へ

5. シンギュラリティ – 2045年、機械が人間を超える？

- 45%が自動化、ロボット化
- 65%が現在ない職業に





6. “VUCA” World

Volatility (変動性)

Uncertainty (不確実性)

Complexity (複雑性)

Ambiguity (曖昧性)

米
大統領選

イギリスの
EU離脱

北朝鮮
情勢

将来を見通すことが困難で、
“正解のない時代”



日本人留学生倍増計画



2020年までに日本人留学生 **倍増**

(日本再興戦略 平成25年6月14日閣議決定)

大学生等 **6** → **12** 万人!

高校生 **3** → **6** 万人!



2. トビタテ！留学JAPAN 高校生コースの紹介



トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム

官民協働で取り組む留学促進キャンペーン

学生・生徒を**日本代表**として海外へ派遣
民間からの寄附

10,000人

200億円

※2020年までの目標





人材育成

留学を通じて
“多様な経験と自ら考え行動する機会”を提供し、
“グローバルに活躍できる力”の育成を目指す

留学機運醸成

派遣留学生在が自らの経験を還元することで、
新しい留学文化を醸成する



返済不要の 手厚い奨学金！

選べる
期間

14日～1年間



高校生コースの特徴② 多様な留学を支援



分野名

留学内容

アカデミック

テイクオフ
(新高校2～3年生向け)

海外の語学学校等のプログラムに参加し、外国語を用いて異文化交流を行う留学

テイクオフ
(新高校1年生向け)

ショート

海外の高等学校や大学のサマースクール等に参加し、外国語を用いて様々な専門科目を学修する留学

ロング

海外の高等学校等に長期間通学し、外国語を用いて様々な科目を学修する留学

プロフェッショナル
(未来テクノロジー人材枠)

観光、IT、調理等のキャリアカレッジ等での学修、農場や工場等の実地研修、インターンシップ等に参加する留学

スポーツ・芸術

海外のトレーニングセンター、教育機関、芸術学校等に通学し、技量の向上を目指す留学

国際ボランティア

NGO等が主催する支援活動に参加するほか、国際協力について関係機関で学び、理解を深める留学

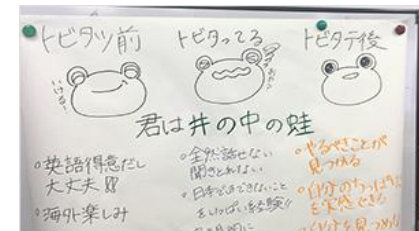


情熱

好奇心

独自性

<成長の促進を目指したプログラム>



壮行会

事前研修

留学

事後研修

留学生
ネットワーク

日本代表生としての
意識の醸成

- ・ 留学計画のブラッシュアップ
- ・ 活動の目標の明確化

- ・ 留学を通じて
学んだことの言語化
- ・ 体験のシェアと相互
の学び合い
- ・ 将来の目標設定

- ・ 将来に渡って学び合う
仲間とのつながり
- ・ 地域での留学機運醸成

<事前・事後研修の特徴>

■ 留学を中心とするPDCAサイクル

(計画⇒計画のブラッシュアップ⇒留学⇒振り返り)

■ 全国の仲間から受ける刺激



事前研修の提供

事前研修の目的

- ・ 派遣留学生としての自覚の醸成
- ・ 留学を通じた学びを最大化するための「留学の目的」の明確化
- ・ 危機管理等、現地で注意すべきことについての理解





事後研修の提供

事後研修の目的

- ・ 留学の振り返りとシェア、留学中の経験の言語化と整理
- ・ エヴァンジェリスト活動の準備、帰国後の目標設定など



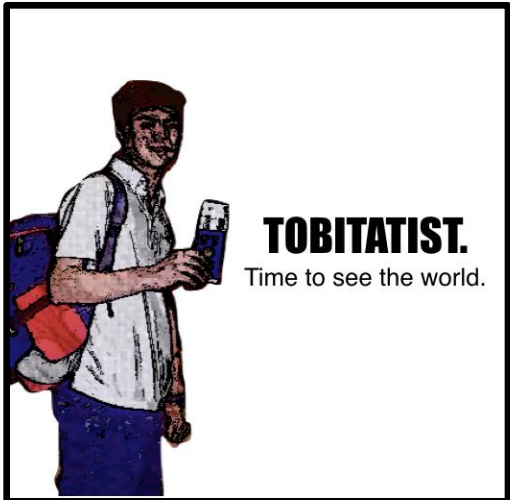


高校生コースの特徴⑤ 派遣留学生コミュニティ



トビタテ生で団体を設立

各地域で同窓会組織の立ち上げ





留学中に求められる二つの活動

自主活動

⇒異文化交流等、エージェントの企画するプログラム以外
に行う活動

例：現地の高校生と交流を図り共に学ぶ活動、
留学テーマに沿った研究・調査活動

アンバサダー活動

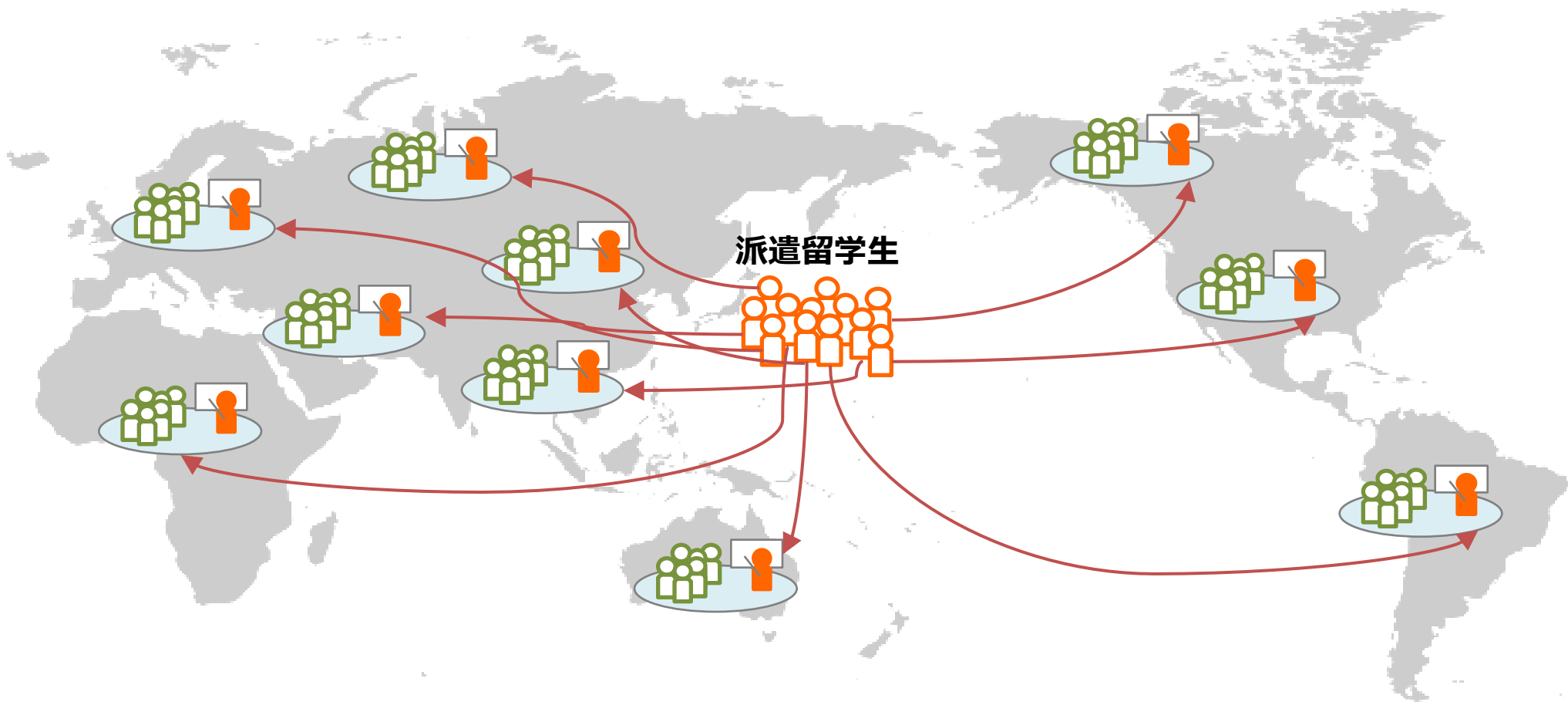
⇒留学先において日本や日本の地域の良さを発信する活動

例：日本文化を紹介する、出身地の魅力をプレゼンする、
和食をホストファミリーにふるまう



アンバサダー活動のイメージ

世界中に日本のファンを増やし、**人脈を構築**





アンバサダー活動の実例



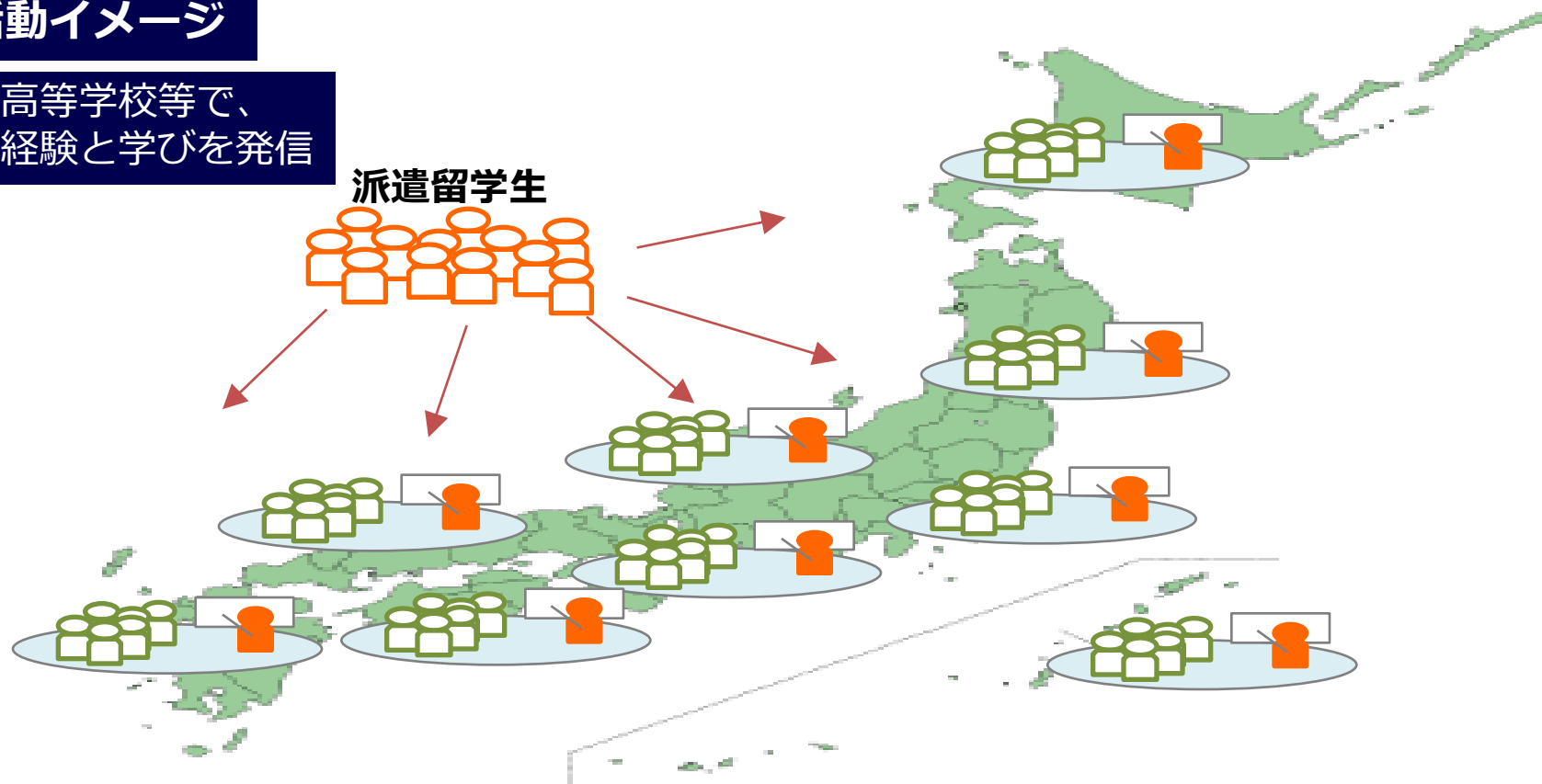


エヴァンジェリスト活動

自分の経験を語り伝えることで、留学機運醸成の一翼を担う

具体的な活動イメージ

自分の地域や高等学校等で、
留学で得られた経験と学びを発信





エヴァンジェリスト活動の実例：留学成果報告



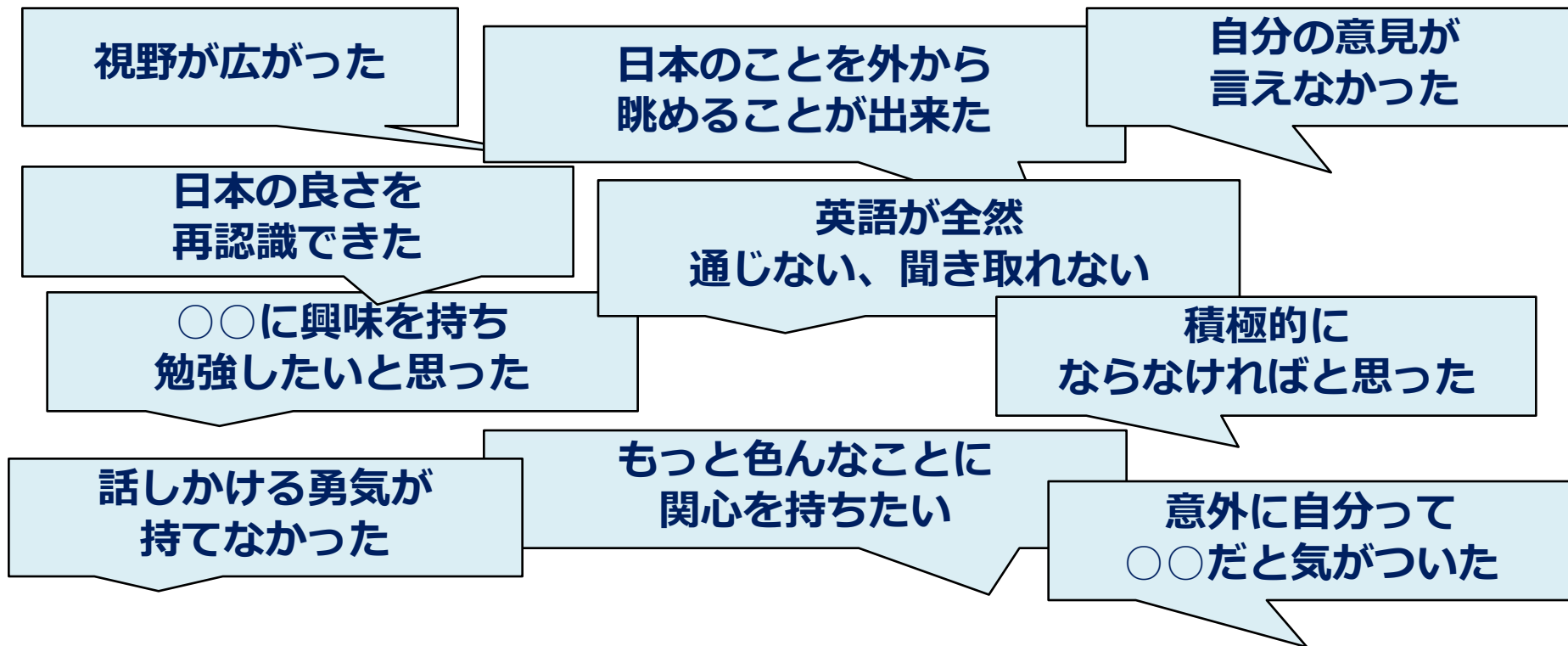


3. 留学を通じて得られること



高校時代に留学する意義

帰国した派遣留学生からの感想として多いもの



10代での留学 =

刺激に満ちた環境の中で「自分」について考える機会



高校時代に留学する意義

トビタテ！の派遣留学生を見ていて感じること

トビタテ！生の「振り返り」に共通すること

視点

新たな発見、「当たり前」の見つめ直し、アンテナ

興味

もっと知りたいこと、勉強してみたいこと

目標

なりたい自分、日々の頑張りたいこと

未来に向けた「エンジン」と「コンパス」

を見つけられる可能性があるのが、高校時代の留学





留学中に感じることに

トビタテ生へのアンケートから（抜粋）

Q. 留学中のどのような経験が有意義でしたか（多かった声）

- ・ 日本とは異なる環境（異文化、ダイバーシティ）の中での生活
- ・ 積極的に動くことの大切さを知る機会となった
- ・ 現地で悔しい思いをした
- ・ 自分の弱さ、足りなさを知った
- ・ 困難に対して自分で考えて動き解決したこと
- ・ チャレンジすることの大切さを知った
- ・ 日本に足りないことが何かを考えた
- ・ 自分の将来について考えるきっかけになった
- ・ 自分の成長を感じる事が出来た



実際に留学してみte感じるこto

トビタテ生へのアンケートから（抜粋）

Q. 留学前に悩んだことについて、行ってみてどう思ったか

受験勉強が遅れることが
不安だった

- ・ 勉強は今からでも取り返すことができるし、それよりも留学して夢を見つける事ができたことの方が大きなメリットだった。
- ・ 受験勉強は机に向かってする勉強だけではないと気がついた。自分の夢や目標を言葉にして伝えることの大切さを学んだ
- ・ 自信もつき、やりたいことも見つけられたので、大学入学前に留学して良かった
- ・ 将来への考えが明確になり、モチベーションが高まった

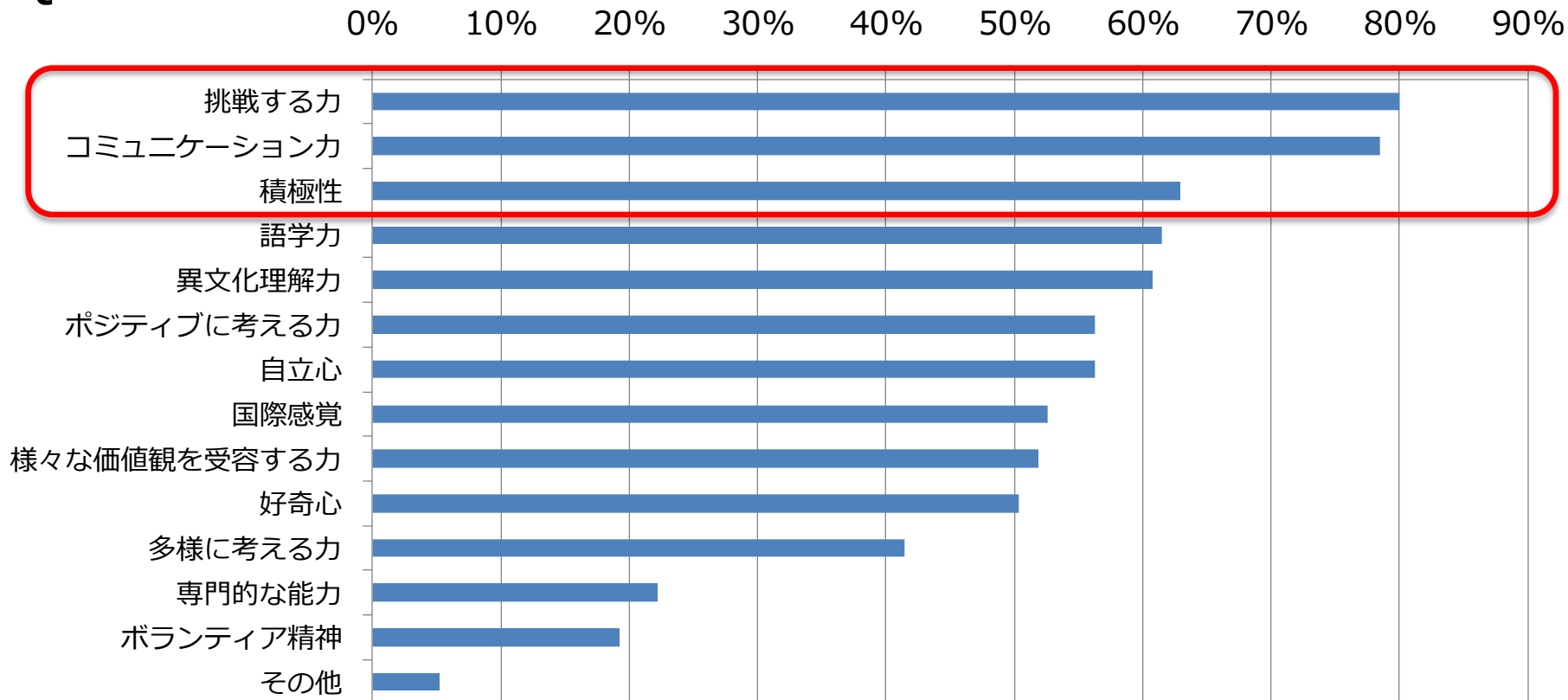


留学生の成長実感

ついた力は、挑戦する力、コミュニケーション力、積極性

トビタテ！生へのアンケートから（抜粋）

Q. 留学によってどのような力がつきましたか？（複数回答可）





「留学」は、最大の成長機会の一つ

これまで生きてきた「枠」 (Comfortable Zone) の外(Stretch Zone)へ一人で踏み出し、海外というアウェーな環境で苦労や葛藤を乗り越える経験をすることで、大きく成長できる

